

令和6年2月15日開催

豊川市国民健康保険運営協議会

令和5年度第2回議事録

豊川市福祉部保険年金課

豊川市国民健康保険運営協議会 令和5年度第1回議事録

- 1 開催日時 令和6年2月15日(木)
午後1時30分から午後3時03分まで
- 2 開催場所 豊川市中央図書館2階 集会室
- 3 委員の定数 13名
- 4 出席委員の氏名

被保険者代表	緒 河 睦 子
同	小 林 尚 美
同	榑 原 るり子
同	藪 田 千 賀
保険医・保険薬剤師代表	板 津 一 平
同	福 富 達 也
同	星 野 正 英
同	伊 藤 幸 剛
公益代表	神 谷 典 江
同	沼 田 俊 昭
同	渡 辺 稔 明
同	小 林 敬 子
	以上12名
- 5 欠席委員の氏名

被用者保険等保険者を代表する委員	吉 田 雄 彦
------------------	---------
- 6 説明のための出席者

福祉部長	小 島 基
保険年金課長	中 西 明
福祉部保険年金課 課長補佐	手 塚 弘 美
同課 国保保険料係長	竹 本 裕 文
同課 国保給付係係長	佐 藤 佳代子
- 7 傍聴者 1名
- 8 議事日程

議題 (1) 報告事項

 - ① 令和6年度国民健康保険事業費納付金について
 - ② 豊川市国民健康保険条例の一部改正について
 - ③ 令和5年度保健事業の状況について
 - ④ 第3期データヘルス計画の策定について

会議の成立

出席者数は、豊川市国民健康保険運営協議会規則第4条の規定の定足数に達している。

会議経過

午後1時30分、事務局福祉部保険年金課長の司会により開会。

○司会（中西課長）

ただ今から令和5年度第2回豊川市国民健康保険運営協議会を開催いたします。

初めに、お手元の資料、会議次第の「1」でございますが、神谷会長よりご挨拶をいただきたいと思います。

——— 会長あいさつ ———

○司会（中西課長）

ありがとうございました。

なお、本日、吉田雄彦委員につきましては、所用のため欠席との連絡がございました。

それでは議事に入ります前に、本日の協議会は、豊川市国民健康保険運営協議会規則第4条の規定による定足数を満たしており、会議が成立していることをご報告いたします。

なお、豊川市審議会は原則公開となっており、本協議会につきましても、豊川市国民健康保険運営協議会の傍聴に関する取り扱いに基づき、一般に公開しております。

なお本日の傍聴人は、1名でございます。

また、会議録は、要点筆記により公開いたします。

それでは以後の進行は神谷会長にお願いしたいと思います。

●神谷会長

それでは会議次第に従いまして、次第の「2」をご覧ください。

議事録署名委員の指名を行います。

本日の議事録署名委員には、豊川市国民健康保険運営協議会規則第7条第2項により、緒河睦子委員、星野正英委員、両委員を指名いたします。

それでは、本日「3」の議題は、(1)の報告事項が4件でございます。

次第「3」(1)①令和6年度国民健康保険事業費納付金について、事務局に説明を求めます。

○竹本係長

「令和6年度国民健康保険事業費納付金について(資料1～5ページ)」説明。
事前質問(No.1)も併せて説明。

———— 質疑・意見の聴取に入る ————

●小林（尚）委員

医療費水準とは、単純に言うと医療費の支払いの状況か。

○竹本係長

そう言えます。医療費を払って入れば、医療指数の上昇につながります。

●沼田委員

現在は、医療費指数、所得を考慮して、県への納付金の金額が決まっているが、今後保険料の県内統一を図るとなると、医療費が低いところも、同じというのは何か負不公平な気がする。

○中西課長

国のガイドラインにより令和11年度までに統一するという話がでています。まずは納付金ベースでの統一を図りますが、国民健康保険の適切な運営のために必要な流れと考えております。

○小島部長

補足ですが、医療費水準は、住民の健康具合や医療資源の過多により影響を受けます。愛知県では、市町村によって医療費水準の差が大きいため、不公平感の解消は大きな課題となってくると考えております。

●沼田委員

社会保障ということを考えれば、所得の多寡や、医療費抑制の努力は、自治体ごとに反映させるのが当たり前だと考える。

●渡辺委員

納付金額が豊川市を含めた東三河が比較的低い順位であることは、どのような理由があると考えているか。

○小島部長

一番大きな要因は医療費水準だと考えております。特に大学病院といった高度医療を行う大病院の有無などが影響していると考えております。

●福富委員

豊川市が現在下位にあるということは、保険料を県内統一した場合、豊川市の一人当たり保険料は上昇するということか。

○小島部長

そう考えております。今後、県全体で、不公平感の解消や激変緩和措置などの対応を検討していくと考えております。

●神谷会長

この件について何かございますか。無いようなので、この件につきましてはご理解ということでよろしいでしょうか。それでは、議題(1)①令和6年度国民健康保険事業費納付金についての報告は、ご了解をいただいたということで、次の議題に移ります。

———— 質疑・意見聴取終了 ————

●神谷会長

議題(1)②豊川市国民健康保険条例の一部改正について、事務局に説明を求めます。

○竹本係長

「豊川市国民健康保険条例の一部改正について（資料6ページ）」説明。
事前質問(No.2)も併せて説明。

———— 質疑・意見の聴取に入る ————

●星野委員

今回の減免は、申請が必要な減免ということか。

○竹本係長

原則は申請をいただく形式となっております。しかし、出産に関わるもののため、本市でも把握ができますので、本市で調査いたしまして、把握できたものにつきましては、申請を省略して適用させる運用となります。

●沼田委員

減免額について、本人がわかるような通知は行われるのか。

○竹本係長

保険料の決定通知書の中で、詳細な数字を記載してまいります。

●神谷会長

他の委員でこの件について何かございますか。無いようなので、この件につきましてはご理解ということでよろしいでしょうか。それでは、議題(1)②豊川市国民健康保険条例の一部改正についての報告は、ご了解をいただいたということで、次の議題に移ります。

———— 質疑・意見聴取終了 ————

●神谷会長

議題(1)③令和5年度保健事業の状況について、事務局に説明を求めます。

○手塚課長補佐

「令和5年度保健事業の状況について（資料7ページ）」説明。

事前質問(No.3、No.4)も併せて説明。

———— 質疑・意見の聴取に入る ————

●神谷会長

この件について何かございますか。無いようなので、この件につきましてはご了解ということでよろしいでしょうか。それでは、議題(1)③令和5年度保健事業の状況についての報告は、ご了解をいただいたということで、次の議題に移ります。

———— 質疑・意見聴取終了 ————

●神谷会長

議題(1)④第3期データヘルス計画の策定について、事務局に説明を求めます。

○手塚課長補佐

「④第3期データヘルス計画の策定について(資料別添)」説明。

事前質問(No.5～12)、事前意見も併せて説明。

———— 質疑・意見の聴取に入る ————

●緒河委員

特定健診の受診率向上のため、足がなくて受診に行けない方に対して、どのように市は考えているか。

○手塚課長補佐

コロナ禍以前は、身近で比較的小さな健診会場を設定していましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、現在は、ある程度の広さを持つ会場で設定しており、有効な対策ができておりません。

●緒河委員

コミュニティバスの本数も減っており、対策をお願いしたい。

●神谷会長

足の不自由な人への対策として、タクシーの利用などがあると思うが、費用や立地の関係上なかなか難しいというのも理解できる。

●沼田委員

受診率の目標を60%ではなく41%としたので、手が届く目標だと思う。動機付けなどの対策を、効果の高い新規被保険者を集中的に対策していただきたい。

●神谷会長

行政としては、新規被保険者も既被保険者も平等に勧奨する必要があるのは理解できるが、新規被保険者の対策は、特に力を注いで欲しい。なお、目標設定は、好感がもてる。

● 藪田委員

1%受診率を上げようと考えたと逆算で約270人の受診者数増加が必要である。このためには、若い方の受診者数を伸ばすことが大切だと思う。受診者に昼食やコーヒーチケットを供与するなどの予算を必要とする対策も可能か。

● 神谷会長

受診率向上のため、若い方への対策として、インスタなど利用するなど、いろんな手法を取り入れていく必要がある。

○ 小島部長

これまで受診をしていない新規の方への対策としては、30代から健診を習慣付ける対策を、これまで以上に強力に取り組んでまいります。また、コーヒーチケットや既存の健康マイレージの粗品のようなささやかなメリットを提供するような対策、SNS等での情報発信といった対策についても、検討していきたいと考えています。

● 藪田委員

健診に行こうと思いついたが、予約をすると3か月先しか予約できなかった。できるだけ早く受診できる、受けたときに受けられる体制づくりも大切だと思う。

● 小林（尚）委員

受診率向上のため、国民健康保険の特定健診の枠以外で受診した健診情報を提出してもらおう。そのために、主婦層に喜ばれる現在の粗品であるゴミ袋だけでなく、若い世代に喜ばれる粗品の設定があるとよい。

● 榊原委員

健診を受けると過去のデータを合わせて提供しているところもある。お薬手帳も同様の効果があるが、過去を知ることが現在を知る動機になりえると考えられる。新規被保険者、働き盛り世代、子育て世代、自営業者など、ターゲットを絞った対策も必要ではないかと思う。

● 藪田委員

子ども目線や孫目線でのメッセージ性のある、受診勧奨の呼びかけも検討してみてもどうか。

● 神谷会長

介護高齢課がエンディングノートを作成したとき、大変好評だったと聞いた。榊原委員の提案のような健康年表といった工夫は検討して欲しい。

●板津委員

特定健診で対象となる糖尿、コレステロール、血圧などは、多くは遺伝的なものである。家族に同様の症状があれば、特に気を付けるように周知するがあるとよい。

現在子宮頸がんワクチンの未接種者に対する活動を行っているが、このような周知のノウハウは、特定健診の周知にも応用していけるのではと思う。

●神谷会長

第一歩が踏み出せば、健診を受けることは容易いと思うが、そこまでの道がある。歯科なら携帯にメンテナンスのお知らせが届き、それをきっかけに歯科に行く。

●板津委員

高齢の方にはアナログな手帳などもよいと思うが、若い世代の方には、デジタルで、今までの特定健診のデータが簡単に見れるようなシステムづくりが大事かもしれない。

○中西課長

マイナポータルに登録しておくことで、自分の情報を確認することができ、病院側でも見ることができますので、普及していけばいいと考えております。

●福富委員

若い方の健診に対する意識がどれくらいあるかが重要だと思う。若い方自身が健診を受ける気があるかどうかになってくる。

いろいろな方策を実施し、少しでも受診率を上げることが大事だと思う。

●星野委員

私の歯科医院では、小・中学校のころから、健診の重要性を説明しており、放置すれば将来痛くなるということを入れて歯を磨く習慣をつけるよう、当初から心がけている。自分の生活が決まってリズムができている方は、なかなか変えることが難しい。生活リズムが根付いてないうちに、いかに教育するかが大切ではないかと思う。

●伊藤委員

保険証が12月に廃止になり、医療機関窓口でマイナ保険証を提示するようになれば、健康診断のデータを閲覧できるようになる。健診データのない方に声をかけるなど協力できれば、受診率向上の一助となると思う。

●神谷会長

第4期豊川市国民健康保険特定健康診査等実施計画の12ページにある公表・周知だが、ポスターの掲示、広報掲載、チラシ配布、出前講座など、実態をしっかりと記載するべきだと考える。

○中西課長

実施内容や今後の計画など、会長と相談しながら記載させていただくということ
でよろしいですか。

●神谷会長

付け加える形で修正しますので、ご承知おきください。

他の委員から何かありますか。無いようでしたら、この第3期データヘルス計
画につきましてはこのまま進めていただくということでご了解をいただいたと
いうことよろしいでしょうか。では、次の議題に移ります。

———— 質疑・意見聴取終了 ————

●神谷会長

次第「4」その他について、事務局から何かありますか。

○中西課長

第3期データヘルス計画が3月策定になる旨及び次回の開催予定について説
明。

○小島部長

令和6年4月から対象拡大となる高校生世代の通院・入院医療費無料化につ
いて説明。

●神谷会長

ご説明ありがとうございました。質問も無いようでしたら、これで散会とさせ
ていただきます。本日は、ご多忙のところありがとうございました。

午後3時03分閉会

上記、会議の顛末を記録し、この議事録は、真正であることを認め、ここに署名する。

令和6年 月 日

会 長

議事録署名委員

議事録署名委員